

がん患者さんとご家族のための

# ピア・サポーターズ サロニちば

がん経験者であるピア・サポーターが「仲間」として患者さんやご家族の悩みを聞いたり、体験をお話する場です。少人数でお話しやすい雰囲気です。

申込み不要。  
開催時間内のご都合のよい時間にお越しください

開催日：平成29年7月4日（火）

時間：午前10時～午後3時

場所：国立がん研究センター東病院

1階外来相談室（柏市柏の葉6-5-1）

◆つくばエクスプレス 柏の葉キャンパス駅西口からバス（約5分）

◆JR常磐線・東京メトロ千代田線・東武野田線 柏駅西口からバス（約15分）

参加するピア・サポーターの略歴とメッセージの一部です  
（都合により参加者が変更となる場合がありますので、ご了承ください）

乳がんと肺がんで、手術、抗がん剤、放射線治療、ホルモン療法を経験。再発やリンパ浮腫を乗り越えて今でも仕事をしていただけるのは、話を聞いてくれる「仲間」がいたから。あなたも胸のうちの苦しさを分け合ってみませんか。  
（70代女性、乳がん・肺がん）

がんになるということはマイナス部分だけでなく、自分の生活を見つめ直す良い機会だとも感じました。私は「がんと共に生きて行く」と思えた時から楽になりました。お話をすることで生き方が少し楽になるかもしれません。  
（70代女性、甲状腺がん・大腸がん）

体験者などから情報を得ると一人ではないと感じ、がんと闘う勇気が出ます。一緒にお話ししましょう。  
（60代女性、悪性リンパ腫）

妊娠中に乳がんになり、今日を生きるのが必死でしたが、家族と仲間のサポートでやっと明日を考えられるようになりました。  
（50代女性、乳がん）

3か月間で直腸がんと転移性肺腫瘍の摘出手術を経験しました。思いわずらうと体に良くないと考え、「今日は今日、明日は明日」の積み重ねで生きています。  
（60代女性、直腸がん）

人工肛門造設22年目です。その間、9回程腸閉塞を経験しましたが、日常管理を工夫して生活への支障を少なくし、マラソンやスキーを楽しんでいます。  
（80代男性、直腸がん）

13年間で10回のがん手術をしましたが、今はボランティアも旅行も普通にやっています。はじめはなぜ自分だけがこんな目にあうのか、天を呪うこともありましたが、がん患者同士で話をするのがこんなにも癒しになるとは思ってもませんでした。（70代男性、胃・直腸・大腸・十二指腸がん）\* その他に喉頭がん経験者も参加予定です。

お問い合わせ  
合わせ

国立がん研究センター東病院

サポーターケアセンター／がん相談支援センター 04-7133-1111（代表）

千葉県地域統括相談支援センター 043-264-5431（内線2530）